

令和3年度 事業報告書

社会福祉法人 藤暢会 法人本部

<概要>

令和3年度も、特に医療福祉業界においては、新型コロナウイルス感染症の更なる感染拡大が、事業運営に多大な影響を与えました。

岡山県の新型コロナウイルス感染症者数も、前年度末の累計2,693名にから、令和3年度末には、オミクロン株等の変異株による猛威により、62,856名と約23倍と爆発的な拡大となりました。病院や保育園、高齢者等の福祉施設のクラスターも前年度と変わらず県内各地で発生し、安定的な医療福祉サービスの提供を揺るがすような危機感を関係者が覚える瞬間もありました。

社会福祉法人藤暢会においても、令和4年2月に特別養護老人ホームあかりで職員1名の感染が初めて確認されましたが、新型コロナウイルスだけではない、従前からの各感染症（インフルエンザ等）の感染防止対策も要因の一つにあるのか、それ以降、年度内の法人内感染者は1名に留まりました。

法人全体でも、感染防止には前年以上に注力し、ハード面では全拠点でのサーモグラフィ型の検温器、あかりでのクリーンパテーション（陰圧器兼用）の導入を図りました。また、ご利用者、入所者および職員への定期的な抗原検査の実施、新型コロナワクチン1～3回目のスムーズな接種も図り、現状で考え得る限りの対策を講じました。

新型コロナ感染拡大が、職員個人に及ぼす影響に対しても、令和3年4月の慰労金支給、家族が濃厚接触者と特定されたり、発熱した場合等に対する特別有給休暇付与などの網羅的な職員支援にも取り組みました。

但し、直接的な新型コロナ感染は抑えられたものの、地域の感染拡大による介護サービスの利用控え、医療の受診控え、保育の一時預かり受け入れ停止などによる実績面でのマイナス影響を受けました。

終始、新型コロナの影響を受け続けた令和3年度ですが、各拠点、全職員はご利用者、ご入居者の安全な日常生活のために、新型コロナと対峙しつつ、感染防止に最大限取り組み、安全な日常生活を実現してくれたことに心から敬意を表します。

法人本部も引き続き、全力で各拠点の後方支援に全力を尽くします。

1. 令和2年度重点課題について

- (1) ニューノーマル(新常態)におけるバックオフィス(後方事務)の生産性向上

各事業におけるバックオフィスの人数は限られていますが、業務そのものや業務分担の見直しを行い、俎上にあがる各課題について、ニューノーマル（新常态）の時代に対応できる最適な解決策を見出し、生産性向上を図りました。

給与計算をはじめとした労務管理のシステム化は、費用対効果を見極めた上で導入を見送りましたが、給与計算は勤怠集計の工程を見直し、入力までのチェック時間を短縮することで、前年度より平均1日早く給与計算処理が完了することが可能になりました。

また、ローコストでのオンライン人材募集広告の利活用や各拠点事務担当者の業務の見える化を推進しました。次年度に向けて、個々の業務を見える化から効果的な分担、効率化へ発展させます。

（2）サービス品質の強化支援

あかりでは、コロナ禍もあり、感染症に関するBCP（事業継続計画）の策定を完了させました。引き続き、地域内を流れる滝川の河川氾濫を想定した水害によるBCPの策定について、法人本部より策定研修の機会を確保しながら継続して取り組んでいます。東和ほほえみ保育園岡山、津山クリニックに関しても、高齢者福祉分野に沿った同様のBCP策定を検討します。

利用者様へのサービス満足度調査をあかりで実施していますが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、利用者様の家族と直接コミュニケーションを交わす機会が激減しており、リアルかつ実感の込められた回答をどのように得ていくのかが、短期的な課題に挙がります。

美作大学や勝間田高校をはじめとした新卒採用活動も、コロナ禍で相当以上抑えられました。ハローワーク経由での活動は継続していますが、新卒者のフレッシュな視点による組織活性化、サービスレベルの継続的向上に繋げるためにも、次年度においては早期再開を目指します。

各種研修については、感染者数減少期は会場開催、拡大期はオンライン開催という開催方法が一般的な傾向になっており、各拠点とも会場とオンラインを使い分けるハイブリット受講が定着し、各拠点とも前年より研修受講数が飛躍的に増加しました。今後も、あかりにおける介護実務者研修会場提供を軸としながら、研修機会の確保を目指します。

2. 中長期経営計画について

勝央町に対し、令和3年度の勝央町高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画の情報収集アプローチと地域包括ケアシステムへの参画の提案活動を行いました。中長期

視点による勝央町の地域社会福祉上の課題に対する共感や解決案によるアプローチを行いながら、あかり隣地の地域社会福祉ゾーンとしての活用シナリオも勝央町のニーズに寄り添いながら計画を継続します。

地域の公益的取り組みについては、令和2年度上期に予定していた小矢田地区を中心とした地域高齢者の買い物支援ツアー（法人所有バスを活用）が、引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和3年度も断念せざるを得ませんでした。

令和4年度も、勝央町社会福祉協議会と連携し、感染状況を鑑みつつ、実現へ向けた準備を継続します。

一方で、勝央町においても、地域の公益的取り組みの起点となる勝央町社会福祉法人連絡会について、令和3年度の設立時より社会福祉法人藤暢会として参画しました。令和4年度から本格的な事業開始を計画しており、フードドライブ等の生活困窮者支援事業等に積極的に参加、支援を行う予定です。

3. 法人本部の運営について

変異株による新型コロナウイルス感染急拡大により、令和3年度も主に特別養護老人ホームあかりにおいて、特に令和3年12月～令和4年2月の間、退所者急増による介護事業収入減少の影響を受けました。さらに、定期的な抗原検査の実施による検査キット購入増加など、手厚い感染防止対策を講じるために事業活動支出も増加しました。

これら要因により、安定した支払資金残高を確保しているものの、令和3年度についても、社会福祉事業における効率的な資金確保のために、福祉医療機構の無担保無利息借入による外部資金調達を実施しました。

法人本部では、今後も事業を取り巻く環境変化に対し、柔軟かつ効率的な資金計画を策定する予定です。

4. 事業・拠点運営（令和4年3月末現在）

（1）社会福祉事業区分

① 法人本部拠点区分

ア 本部

② あかり拠点区分

ア 特別養護老人ホームあかり

イ 老人短期入所事業あかり

(2) 公益事業区分

① 津山クリニック拠点区分

ア 津山クリニック

② 東和ほほえみ保育園岡山拠点区分

ア 東和ほほえみ保育園岡山

令和3年度 事業報告書

特別養護老人ホーム あかり

<概要>

あかりでは、「入居者、利用者が主役」という施設理念を掲げていますが、令和3年度も入居者様及び利用者様、職員全員への新型コロナウイルス感染防止を最優先に事業運営を行い、入居者様及び利用者様がコロナ禍においても健康的であり、日々の生活にご満足いただけるようなケアの提供に尽力しました。

職員は総じて新型コロナウイルス感染防止策に対する認識が高く、常に「うつらない」「うつさない」「持ち込まない」をモットーに業務と向き合った結果、令和3年度も特養入居者様、ショートステイ利用者様は、感染者ゼロで締め括ることが出来ました。行事・イベントについては、例年、地域との接点増加やあかりの情報発信を目的に開催していますが、前年度同様にコロナ禍では、様々な工夫や感染防止対策を徹底した上で、規模を縮小し各ユニット単位で開催しました。そのため、多方面からのボランティア受け入れ等は中止し、入居者様、利用者様のご家族や地元の皆様方の参加についても自粛いただくざるを得ませんでした。

一方、ご家族の面会は、岡山県の指示や近隣を含む県内外での新型コロナウイルス感染状況を勘案した上で、令和3年12月10日から約1ヵ月のみの期間となりましたが直接面会を開催することが出来ました。その後は、感染状況を注視しながら面会可能時に、オンラインやガラス越しでの面会等、その都度切り替えながら実施しました。

面会の機会減少や面会そのものが叶わないご家族様へは毎月入居者様の様子を撮影した写真を送付し、安心安全な環境状況や健康状態をお知らせすることで、感謝の言葉を数多く頂戴しました。

また、外部との接点として、地域包括及び各介護事業所との連携も、新型コロナウイルス感染症防止対策を施した上で、可能な範囲で連携推進を図り、新規入居者様や利用者様が円滑にご利用いただけるよう協力いただきました。

今後も、社会福祉法人の公益的取り組みの実施再開や、地域の社会福祉に貢献できるような価値ある情報提供等を図りながら、地域包括ケアの醸成を目指して事業活動に取り組めます。

一日も早いコロナ終息を願いつつ、地域の社会福祉インフラとして、「うつらない」「うつさない」「持ち込まない」をモットーに感染防止対策が行き届いた、安心・安全な施設運営を行います。

1. 施設事業運営

(1) サービス区分

① 特別養護老人ホーム

高齢により身体または精神上に著しい障害があり、常時介護が必要かつ居宅での介護が困難な方へ入所サービスを提供しました。また、コロナ禍ではありますが、新規入居様への受け入れは、新型コロナウイルス感染症防止対策の一環として、令和3年度も施設独自に抗原検査を実施した上で、安全にご入居いただきました。

また、特養並びにショートステイにおいて、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、施設内感染が有り得ることを想定し、陰圧装置を1日あたり16時間、365日稼働することにより、多種に渡る感染症拡大を阻止することができ、職員一丸となり介護事故もなく質の高い介護ができました。

そのような背景や下半期に退去者が続出したこともあり、1年間を通しての特養入居稼働率がコロナ禍とは言え、約92%の実績に終わり、介護報酬収入は前年度を下回る結果となりました。

② ショートステイ

ショートステイは、介護予防及び要介護認定を受けている在宅の高齢者に対し、家庭介護が困難な方を受入れ、介護者の負担軽減を図るといった在宅介護の本質的な役割を果たしています。

特に令和3年度は、利用者様や職員の感染リスクを回避する工夫を重ねながら、安心安全なロングショートステイの利用に加え、職員がこれまで蓄積した介護力を発揮し利用者様を選ばない幅の広い受け入れが実績にもプラス作用しました。

その結果、令和3年度は稼働率82%近くの利用実績となり、介護報酬収入は前年度を大幅に上回ることが出来ました。

新型コロナウイルスの抗原検査に関して、令和3年度も特養のみならず、ショートステイでも、新規利用者及び2週間先のレポートによる定期利用のケースについても、抗原検査を実施し、その安心・安全を担保に利用いただいています。

新型コロナウイルスのオミクロン株が、近隣地域において1月中旬より感染拡大の懸念が出始めた際には、ショートステイの全利用者様を対象に、感染防止対策として、利用時に必須で抗原検査を実施しました。(令和3年度抗原検査の総数299名、利用者様は検査結果の陰性を確認してから施設利用いただきました。)

(2) 特養・ショートステイ利用者数

① 特別養護老人ホーム

定員 50名 年間延べ利用者数 16,778名 (1日平均45.96名)
 月間平均利用者数 1,398名 (月間平均稼働率91.9%)

② ショートステイ

定員 10名 年間延べ利用者数 2,982名
 月間平均利用者数 249名 (月間平均稼働率81.8%)

③ 入所者の状況

- ・各月末入所者数の年間合計 562名 (月平均46.83名)
- ・各月末入院者数の年間合計 25名 (月平均 2.08名)
- ・新規入所者数の年間合計 26名 (月平均 2.16名)
- ・退所者数の年間合計 26名 (月平均 2.16名)

	月末入居者数	入院者数	新規入居者数	退去者数
4月	49	2	3	1
5月	50	2	1	0
6月	50	1	3	3
7月	48	1	0	2
8月	49	2	1	0
9月	48	3	1	2
10月	46	4	2	4
11月	45	3	3	4
12月	44	3	2	3
1月	42	2	2	4
2月	44	1	4	2
3月	47	1	4	1
合計	562人	25人	26人	26人

④ 年齢別・性別の状況 (下図—令和4年3月31日現在)

年齢性別	65歳未満	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90~94歳	95歳以上	計	平均年齢
男性	0	0	1	1	3	4	2	0	11	83.9歳
女性	0	0	0	2	4	9	15	6	36	90.3歳

計	0人	0人	1人	3人	7人	13人	17人	6人	47人	88.8歳
---	----	----	----	----	----	-----	-----	----	-----	-------

⑤ 令和3年度末 要介護度別の状況（下図）

	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数	0人	0人	0人	4人	22人	21人	47人

(3) 利用者サービス

●健康管理

① 津山クリニックとあかり双方の看護師が密に連携し健康管理の充実を図りました。また、コロナワクチン接種1・2回目、3回目と接種を希望される入居者様と職員全員の接種を完了しました。

② 歯科医師、歯科衛生士による口腔ケア及び口腔ケア指導・研修に注力しました。長期的な効果として、引き続き誤嚥性肺炎のリスク軽減に繋がってきております。個々に一定の口腔ケアを出来るレベルに達してきていますが、口腔ケアの充実は感染予防としての側面効果に繋がる事を再度研修で習得し、新型コロナウイルス感染症予防策としても口腔ケアに更なる注力をしています。

③ 多職種連携での感染防止対策委員会の開催を重ね、オールあかり体制で感染症対策に注力した結果、令和3年度も新型コロナウイルスのみならず、インフルエンザ等を含めた全ての感染症について、入居者様及び利用者様の感染者ゼロを達成しました。

新型コロナウイルス感染症については、国内外で猛威を振るうオミクロン株により爆発的に感染者が増え続けていますが、これまで以上に感染予防策の周知徹底に努め、施設入居者様、利用者様の健康と生命を守る一方、職員の感染リスクを低減させるよう、全職員が力を合わせて、感染予防と手厚いケアの両立に取り組んでおります。

●栄養管理

① 入居者様個人の状態と体調を考慮しつつ、津山クリニック医師の指示による療養食指示等を管理栄養士が反映して適切な献立を作成しました。また、調理方法や味付けや盛り付けに最大限配慮した食事提供を行いました。

③ 嗜好調査を実施し、その評価分析を用いて、利用者様の要望に合った食事を提供するように心掛けました。

- ④ L I F E（栄養マネジメント強化加算）の取得に基づき、入居者様の栄養状態の維持及び改善を図り、自立した日常生活を営むことができるよう、各入所者の状態に応じた栄養管理を計画的実施することができました。
- ⑤ 衛生的な厨房環境の整備に配慮し、食中毒発生のリスクの回避に努めました。
- ⑥ 定期での給食会議並びに厨房ミーティングにて、業務委託先の日清医療食品（株）と食事の形態を密に相談し、入居者、利用者様の食事の内容や栄養の充実に注力しました。

●機能訓練

- ① 機能訓練指導員（看護師）により、個人の状態に適した機能回復訓練を実施し、入居者様それぞれ個々に回復部位も確認できました。

●安全管理

- ① 今年度もコロナ禍ではありましたが、年2回の避難誘導、消火訓練を自衛消防において実施しました。
- ② 福祉避難場所としての役割と避難確保計画について、運用方法などの検証を勝央町役場と美作県民局事業班とすり合わせしています。
- ③ 宿直を配置している夜間の防犯、防災体制の強化並びに急変時の連携と夜間の体制の強化を図りました。
- ④ 新型コロナウイルス感染症発生時の取組みとして、BCP（業務継続計画）を作成しました。定期に見直しを行い、いざと言う緊急時のために対応します。
令和4年度は、水害を含む自然災害発生時を想定したBCP（業務継続計画）も作成、訓練を行う計画も立案し、地元自治体や消防団等の協力を得るよう対応します。
- ⑤ 職員の安全管理として、県外への私用外出、外泊の場合の届出と自発的な抗原検査（令和3年度職員自費検査数 41名、検査結果全員陰性）の実施に加え、個人（家族）の体調不良等あった場合には、休暇後の出勤時に、施設負担による抗原検査の実施を行い、安心・安全に勤務に就くことができるよう対策を徹底し、感染リスクを抑えました。

（4）行事、会議、各種委員会、レクリエーション、地域交流等、ボランティア行事に

関し、下記、全ての開催においては、新型コロナ感染防止対策を講じ実施し、対策を詳細に伝達しています。

(但し、開催そのものを中止する場合もありました。)

●年間定例行事（ボランティア行事含む）、会議及び各種委員会等（下図）

・毎月定例－運営会議／2回、入居判定会議／1回、口腔ケア指導／4回、職員連絡会議、看取り委員会、事故防止委員会、安全対策委員会、給食会議／1回、理美容／0～2回、レク委員会／1回、嘱託医回診1回（50名）、石井会計月次会計報告実施 等

・4月度－入職式、レク行事「お花見会・お花見弁当会／感染防止徹底により施設内実施」開催、美作市議会議員選挙（不在者投票実施）、すみれ会総会

・5月度－開設記念お弁当、すみれ会環境整備、レク行事「春のドライブ実施／（対象者、場所、手法は要相談の上実施）」、監事監査、第1回理事会開催、第1回自衛消防避難訓練実施、消防設備点検実施、事故防止委員会職員研修開催、定期貯水槽清掃、第1、2回目コロナワクチン接種実施（入居者様・役職員）

・6月度－レク行事「各ユニット運動会実施／感染防止徹底の上、実施」、第1、2回実務者研修施設内感染防止対策の上、実施（オリエンテーション）、第2回理事会開催、第1回評議員会実施、第1回消防設備定期点検実施、第1、2回目コロナワクチン接種実施（入居者様・役職員）

・7月度－レク行事「各ユニット七夕会／感染防止対策の上、実施」、定期水道水質検査、第1、2、3回実務者研修施設内感染防止対策の上、開催

・8月度－レク行事「各ユニット夏まつり／感染防止対策の上、開催」、第4、5回実務者研修施設内感染防止対策の上、実施、入居者様百歳の祝い

・9月度－レク行事「各ユニット敬老会及び表彰／感染防止対策の上、開催」、第6、7回実務者研修施設内感染防止対策の上、開催、敬老弁当、第三者委員会（書面報告）、第1回安全対策及び事故防止対策職員伝達研修

・10月度－レク行事「秋のドライブ感染防止対策の上、対象者、場所、手法は要相談し実施」、すみれ会、第8、9回実務者研修施設内感染防止対策の上、開催、衆議院議員総選挙（不在者投票実施）

・11月度ーレク行事「文化祭作品展示/各ユニット、おやつ喫茶/感染防止対策の上、各ユニット実施」、園芸福祉（ボランティア）、第3回理事会開催、第2回自衛消防避難誘導訓練、北部訓練校実習生受入れ実施（4名）

・12月度ーレク行事「各ユニットクリスマス会～25日、入居者様ケーキバイキング感染防止対策の上、実施」、第2回評議員会、すみれ会、第2回消防設備定期点検実施

・1月度ー 新年互例会開催、レク行事「新年会/感染防止対策の上、各ユニット実施」第3回目コロナワクチン接種実施（入居者様・役職員）

・2月度ー レク行事「節分祭/感染防止対策の上、各ユニット実施」、津山市長選挙（入居者不在者投票実施）、第3回目コロナワクチン接種実施（入居者様・役職員）

・3月度ー レク行事「ひな祭/感染防止対策の上、各ユニット実施」、第2回第三者委員会（書面報告）、第3回評議員会（書面議決）、第4回理事会開催、第2回安全対策及び事故防止対策職員伝達研修

●職員会議等の実施状況

会議の名称	実施状況	会議の主な議題
・カンファレス・朝礼	毎朝	・入居者。利用者当の状況確認・ショート利用確認・業務、行事報告、連絡事項・情報交換・等
・運営委員会	第1. 3月曜/月	・随時施設の課題、要望、重要事項等の施設の管理運営に関する事
・職員連絡会議	第1月曜/月	・毎月時の報告事項、課題事項の提案、立案等の検討
・リーダー会議	1回/月	・看護、介護、支援相談全般、給食等に関し課題、要望事項等
・感染防止対策委員会/研修	1回/月・4回/年	・感染症等対策を検討、感染症知識のレベルアップ等
・ヒヤリハット報告検討会	第1月曜/月	・危険内容の確認、ヒヤリハット共有等状況報告、対策立案等
・事故防止検討委員会/研修	第1水曜/月	・各ユニットで検討された事例に基づき、事故防止対策を検討、併せて研修も実施
・褥瘡予防対策委員会	4回/年・随時	・褥瘡予防の対策の検討及び研修
・身体拘束廃止委員会	2回/年・1回/3ヵ月（勉強会）	・身体拘束をゼロにする為には、状況の把握及び勉強会研修
・ケア会議（ご家族参加）	随時	・個別の介護プランの見直し及び今後の介護方針の検討等
・給食会議・厨房会議	第1月曜/月	・行事食、業務改善、献立の検討、入居者の給食について等、委託業者も参加すると同時に厨房でのコミュニケーションを図っている

・栄養ケア会議	第1月曜/月	・入居者の健康状態、栄養状態のモニタリング、スクリーニングを行う
・看取り委員会	4回/年・随時	・看取りの入居者の状態把握、報告や看取りに対する検討、PDCAサイクルの検討等
・レクリエーション委員会	1回/月	・毎月各種の行事計画及び行事開催、反省会等
・入居判定会議	1回/月・随時	・現状把握、入居者判定の検討等
・苦情処理委員会	随時	・苦情に対する確認、把握、検討等、再発防止の検討
・第三者委員会	2回/年・随時	・外部委員（評議員、監事、民生・児童員）への報告及び助言
・腰痛予防対策委員会/研修	2回/年	・腰痛対策、介護の手法の検討及び介護ロボットの検討等
・ミールラウンド (摂食維持管理)	1回/月	・誤嚥が認められる人、誤嚥の可能性の大きい人を対象に食事風景を他職種で見て回り、胃瘻、経管栄養になることなく、口から食べていただく検討をする
・入浴委員会 ・排泄/褥瘡委員会 ・口腔ケア委員会 ・虐待防止委員会 ・レクリエーション委員会		

(5) 職員待遇及び職員採用・退職の状況（令和4年3月31日現在）

●職員	●常勤数	●非常勤数
嘱託医（津山クリニック）	1名	
施設長	1名	
事務員	1名	
介護・看護職長		1名
看護職員	1名	2名
介護長	1名	
介護職員	27名（内介護福祉士22名）	10名（内介護福祉士3名）
		*認定特定行為業務従事者（第2号）7名／21名中
介護支援専門員	1名	
生活相談員	2名	
管理栄養士	1名	
歯科衛生士		1名
宿直員		2名
運転員		1名
計	36名	17名

●下図一（令和2年末から令和3年度末現在）

	施設長	事務員	生活 相談員	介護 支援 専門員	介護 職員	看護 職員	管理 栄養士	嘱託医	宿直他	合計
令和2年度職員数	1	1	1	1	39	6	1	1	4	55人
採用	0	0	0	0	4	0	0	0	0	4人
退職	0	0	0	0	-4	-2	0	0	0	-6人
業務異動	0	0	1	0	-1	0	0	0	0	0人
令和3年度末小計	1人	1人	2人	1人	38人	4人	1人	1人	4人	53人

●定年退職者0名（令和3年度再雇用予定無し）

●実務者研修終了者 0名

●介護福祉士合格者 3名

●認定特定行為業務従事者（第2号）修了者 3名

●健康管理

年2回の健康診断の実施。津山クリニック医師、看護師による健康指導を行いました。

●労務管理

管理者、役職者による定期個別面談を行い、きめ細やかな意思疎通を図りました。

●職員外部研修

（全国老人福祉協議会、全国経営者協議会、岡山県主催、岡山県社会福祉協議会、岡山県看護協会、岡山県介護福祉士会、岡山県ケアマネ協会、各市町村主催、他主催等）

当初に予定されていた研修は、令和3年度も各機関の研修全般がリモートでの研修へ変更されました。また、感染防止の観点から研修中止も多数に及びました。

対象職種	時期	場所	研修者	内容
施設長	R3. 7. 6	On-line	有田 卓司	老施協-そのだ修光様意見交換会
	R3. 7. 12	On-line		岡山県警察本部-安全運転管理者等講習
	R3. 11. 25	On-line		コロナ第6波に備えた研修会
	R4. 1. 13	勝央町		勝央町社会福祉法人連絡会
	R4. 2. 15	On-line		日本経営研修

事務員	R3. 11. 25 R4. 2. 15	On-line On-line	児島 明人	コロナ第6波に備えた研修会 日本経営研修
看護・介護 職長	R3. 11. 25 R4. 1. 27	On-line On-line	黒見紀代味	コロナ第6波に備えた研修会 コロナ感染症対策研修会
介護支援専門員 (主任)	R3. 8. 2 R3. 8. 17 R3. 8. 23 R3. 11. 18	津山 On-line On-line On-line	佐藤 建子 佐藤 建子 佐藤 建子 佐藤 建子	ICT研修会 ケアマネ専門 ZOOM 研修 施設における事故防止研修 居宅介護支援事業所管理者研修
介護支援専門員 (主任)	R3. 11. 25 R3. 12. 10 R3. 12. 12 R3. 1. 23 R4. 1. 29	On-line On-line On-line On-line On-line	佐藤 建子 佐藤 建子 佐藤 建子 佐藤 建子 佐藤 建子	コロナ第6波に備えた研修会 ケアマネ協会ケアマネジメントセミナー ケアマネ協会ケアマネジメントセミナー 主任ケアマネ受講要件ケアマネジメントセミナー ケアマネ協会研修
生活相談員	R3. 8. 2 R3. 8. 23 R3. 11. 25	津山 On-line On-line	西本 弘樹 西本 弘樹 西本 弘樹	ICT研修会 施設における事故防止研修 コロナ第6波に備えた研修会
介護長 介護リーダー 介護職員	R3. 9/2, 3 R3. 9/29, 30 R3. 11/24, 12/2 R3. 11/25 R3. 12/7, 14, 21 R3. 12/7, 14, 21	On-line On-line あかり On-line On-line On-line	坂手 大輔 花房 国彦 介護職員 (他 18名) 住吉みや子 介護職員 (他 5名) 須江 裕子 土井 美穂	ユニット・リーダー研修 ユニット・リーダー研修 ユニ・チャーム(感染防止に配慮したおむつ 交換等)研修 コロナ第6波に備えた研修会 第1~3回リーダー研修 第1~3回リーダー研修

●施設内職員研修(感染防止対策徹底の下、地域交流及び2階パブリックにおいて開催)
(但し、コロナ禍において、感染状況を鑑み研修の中止もありました。)

- R3, 5, 12 ・事故防止委員会職員研修/講師 杏林製薬株
- R3, 5, 6 ・第1回身体拘束廃止委員会職員研修/講師 西本、赤堀相談員
- R3, 5, 6 ・第1回 虐待防止委員会職員研修/講師 西本、赤堀相談員
- R3, 11, 1 ・第2回 身体拘束廃止廃止委員会職員研修/講師 西本相談員
- R3, 11, 17
- R3, 11, 18 ・第1・2回 服薬方法研修/講師 金時薬局・寺井薬剤師
- R3, 11, 24 ・第1回感染防止に配慮したおむつ交換/講師 ユニ・チャーム

- R3, 1 2, 2 ・第2回感染防止に配慮したおむつ交換／講師 ユニ・チャーム
- R4, 1, 2 0 ・第2回 高齢者虐待防止委員会職員研修／講師 西本相談員
- R4, 2, 2 4 ・第1回 褥瘡予防委員会職員研修／講師 猪子看護師
(第2回目開催はコロナ禍により中止としました)
- R4, 3, 3 ・第1回 口腔ケア職員研修／講師 非常勤 飯田歯科衛生士
(第2回目開催はコロナ禍により中止としました)

(6) 施設管理

- ① 特養入居者様使用スケール(体重計)劣化のため、1台追加購入しました。
- ② 非常用天井埋込バッテリー及びランプ48組の交換(1階～3階)をしました。
- ③ ユニット居室エアコン劣化のため、2台取替購入しました。
- ④ 医務室電気温水器劣化のため、1台取替購入しました。
- ⑤ エイジフレンドリー補助金によりシャワーストレッチャー1台購入

(7) 実習生受入れについて、岡山県立北部高等技術専門校 ケアサービス科の実習生(2回/年間受入れ)については1回目の5月はコロナ禍により中止としましたが、11月には感染対策の上、4名受入れ開催しました。

また、美作大学生生活科学部食物学科実習生(1回/年間受入れ)6月に開催する予定としておりましたが、コロナ禍により開催中止となりました。

(8) 2021年、夏のボランティア並びにインターシップ受入れについては、コロナ禍により感染防止対策上、開催は中止となりました。

(9) 研修機関取り組みとして

介護職員実務者研修終了課程取得に向け、専門研修機関である(株)ハートスイッチ様とあかりを県北部の研修会場として、今年度もコロナ禍ではありましたが、地域貢献とし会場として提供しました。

結果、地域の介護士の実務者研修取得を応援するために、コロナ禍にもかかわらず、令和3年度も感染防止対策を徹底し、外部の介護士が参加し無事に実務者研修を開催しました。

(10) 公益活動における地域貢献として

勝央町並びに社会福祉協議会との連携し、法人所有のバス利用による勝央町民への買い物支援活動の実施に着手しかけた折、新型コロナウイルス感染拡大により令和3年度内の実施が延期となりました。

今後の新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みながら、早期の実施を検討します。

以上、(8)、(10)の取組みや実施については、新型コロナウイルス感染症拡大による自粛や開催中止となりましたが、令和4年度以降は、感染終息を願いつつ、感染状況を確認し、開始計画を立案します。

令和3年度 事業報告書

津山クリニック

<概要>

平成30年の津山クリニック開設より4年経過しましたが、地域密着を謳うクリニックとして、地元の津山市東一宮地域のみならず、遠くは県南部在住の患者様にも広域的に受診いただいています。また、建物等のハード面から構えない身近な雰囲気を感じ取れることも、多くの患者様から支持をいただく要因の一つと考えます。

地域に対して、心から寄り添える「保健室」のような存在の医療機関であることを、津山クリニックの基本理念に掲げており、年を追う毎に、地域に住まわれる世帯の家族全員の長期的なかかりつけ医としての存在感を高めつつあります。児童の患者数が多いことも、家族全員のかかりつけ医としての証とも捉えられます。

また、近隣エリアの他医療機関（形成外科、内科、急性期病院）とも円滑に連携し、患者様個々の状態に応じた総合的な医療福祉サービスの提供を可能にしています。

1. 施設事業運営

津山クリニックは、東一宮近隣エリアの無床診療所にはあまり見られない、内科、形成外科、リウマチ科、皮膚科の幅広い診療科を設置していることから、当クリニックが世帯家族全員のかかりつけ医となっている数多くの事例が存在します。実際の診療においても、乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層の患者様が利用されていることから、基本理念に掲げている、地域社会に寄り添う「保健室」のような存在として具現化出来ているのではないかと推測しています。

特に、リウマチ専門外来が数少ない岡山県北部エリアにおいて、津山クリニックはリウマチ専門医が所属しているため、リウマチ症状に悩む患者様からは、地元の作州地域で診療を受けることが可能になる一方、連携している川崎医科大学総合医療センターで高度な医療を提供できる体制があることも、患者様他、地域の医療関係者から非常に高い評価を受けています。さらに、特定の疾患を地元で受診できる距離感の近さも要因となり、リウマチ専門医とその患者様との深い信頼関係が構築されています。

先述のような津山クリニックの特長が、以前より口コミとなって顕在化しており、令和3年度においても、これまでのように、再診患者様の紹介で初診の患者様が多く来院されるという好循環が継続しています。今後も、多くの患者様の信頼の証左でもある初診患者数の増加が期待されます。

また、地域に寄り添うという理念を掲げているからこそ、患者様の個人情報保護というリスク管理に対して、細心の配慮を心掛けています。患者様の名前では無く番号札による呼び出し、受付での集音マイクの設置、別室での問診等、プライバシーへの配慮に引き続き注力しました。

令和3年度も、新型コロナウイルス感染拡大の猛威は衰えず、令和3年12月～令和4年2月の間は、オミクロン株の急拡大による受診控えの影響を受けました。

その間も、可能な限りの感染拡大防止対策に注力しつつ、途切れることの無い安定した医療サービスを提供するための体制、設備の強化を図りました。

前年度のコロナ禍で導入したWeb問診システムは、感染拡大期にはニーズの高まりに対して応えることが出来ました。患者様は来院の手間が省かれ、津山クリニックでは、処方箋を薬局へ送付し処方薬の手配のみを主に行うため、双方共に接触の機会を減少させるといった感染防止のメリットがさらに高まりました。

感染防止に対し、最も地域貢献として注力したのは、新型コロナワクチンの接種機関としての貢献です。1人でも多くの地域住民の接種が完了するよう貢献しました。

津山市医師会の指示の下、1回目・2回目接種より接種期間として参加、多い時には、1日24回の接種を実施しました。引き続き、令和4年からは、3回目接種についても同様に接種を進めています。

社会福祉法人藤暢会のクリニックとして、ワクチン1回目から3回目について、希望者については、特養あかりの入居者および職員、東和ほほえみ保育園岡山の職員、その他関係者も全て接種を実施し、法人に貢献することが出来ました。

また、前年度より導入したアルツハイマー型認知症を血液検査項目で予測する検査（MC Iスクリーニング検査）を拡大し、早期反映の結果を基に、高リスク結果者への該当専門医の紹介、低リスク結果者への定期健診の受診推進に活用しました。実際に、生活習慣病を抱える方は、検査後も継続して津山クリニックで治療を受けることが出来、これまでと異なるアプローチから、患者様との関係をより深めることが可能となっています。

2. 施設概要

事業内容	公益事業（診療所の経営）
診療科目	内科・形成外科・リウマチ科・皮膚科
診察時間・曜日	9：00～12：30／月・火・水・金・土曜日 14：30～18：00／月・火・水・金曜日 14：30～17：00／土曜日（第4土曜日は午後休診）
休診日	木・日曜日・祝日

3. 職員待遇

*職員数（令和3年3月31日現在）

院長	1名
医師（非常勤）	1名
医師（外部）	1名
看護師	4名
准看護師	1名
臨床検査技師	1名
事務課長	1名
事務員	5名（うち育児休暇取得1名）

*健康管理

全職員に対して年1回の定期健康診断を実施しています。

*労務管理

労働時間は、1ヶ月単位の変形労働(勤務)時間を採用し、週の所定労働(勤務)時間は1ヶ月平均して40時間以内としています。

なお、1日の所定労働(勤務)時間は8時間もしくは4時間とし、休日は木曜日、日曜日、祭日としています。

管理者による個別面談を定期的に行い、組織の円滑な意思疎通を図りました。

*研修

地域医療福祉の担い手として、かつ自己研鑽を図るため、可能な範囲で、外部の学会・研修に参加しました。また、日進月歩の医療分野の知識を積極的に吸収し、医療現場に還元するため、院内勉強会を随時開催しました。

令和3年度 医師 参加学会

4月	形成外科学会
8月	皮膚科学会
9月	皮膚科学会
10月	内科学会
12月	リウマチ学会
2月	皮膚科学会

<令和3年度津山クリニック院内勉強会>

午前と午後診察の間を利用し、製薬各社による薬剤の院内勉強会を実施しました。

実施日	製薬会社	薬剤(名称)
4月19日	エーザイ	ジセリカ錠
5月10日	持田製薬	ユリス錠
5月26日	佐藤製薬	ネイリンカプセル
6月21日	協和キリン	ドボペット
8月2日	グラクソ・スミスクライン	ベンリスタ
8月16日	アッヴィ	リンヴォック
8月30日	田邊三菱製薬	ルパフィン
9月22日	佐藤製薬	パッチテストパネル
9月27日	富士薬品	トピロリック
1月25日	ファイザー	エンブレル
2月1日	マルホ	コセンティクス
2月15日	グラクソ・スミスクライン	ベンリスタ
3月29日	アッヴィ	リンヴォック

4. 患者数の推移(令和3年4月～令和4年3月)

令和3年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
一日平均(人)	142	140	134	146	153	147
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	139	144	148	134	134	134

地域での口コミによる認知拡大が継続して繋がっていることで、初診患者数が安定しているものと推測します。医療福祉分野における地域貢献として、18時以降の急患や休日での診療対応、地域他医療機関との強力な連携なども要因となり、コロナ禍で患者数が大幅に減少している医療機関が作州地域でも見受けられますが、当クリニックにおいては年度を通じて安定した患者様の確保が実現出来ています。

5. 社会福祉法人藤暢会内の連携

令和3年度は、特別養護老人ホームあかりの入居者様をはじめ、接種を希望する藤暢会職員全員の新型コロナウイルスワクチン1回目から3回目の接種に貢献することが出来ました。

令和3年度内において、藤嶋会全体の新型コロナウイルス感染者が職員2名のみにとどまったことについても、津山クリニックと特に特別養護老人ホームあかりとの連携により、早期かつ円滑に接種を完了したことが感染拡大防止の要因の一つとして挙げられます。

特別養護老人ホームあかりでは、嘱託医として通常、月1～2回の定期回診を継続して行い、入居者様の健康管理維持や看取り介護の実施にも貢献しました。

同じく東和ほほえみ保育園岡においても、新入園児の健康診断、定期診断等で連携を引き続き図りました。

6. 公益事業活動

平日の診察日は、受付終了後の18時以降も急患対応を行っています。

また、休日当番医制度に継続して参加し、令和4年元日をはじめ、多くの患者様に利用いただくことで、地域医療への更なる貢献が実現できました。

<令和3年度 地域活動実績>

時期	地域活動内容
年度通じて	平日（月・火・水・金曜日）の診療終了時間後の急患対応
令和3年4月	4月4日 日曜日に休日当番医を実施
9月	9月19日 ”
令和4年1月	1月1日 元日に休日当番医を実施

令和3年度 事業報告書

東和ほほえみ保育園岡山

<概要>

企業主導型保育事業4期目として、保育指針に則り、企業(東和薬品株式会社)の従業員の働きやすい職場環境づくりを支援するため、また、地域住民の子育てサポートを行うことを目的として保育事業に取り組みました。

今年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大が影響し、3密の回避、消毒等による感染予防、ワクチン接種の対策を進めましたが、大半の感染リスクを抱える保護者参加行事は中止判断をせざるを得ませんでした。然しながら、岡山県のまん延防止重点措置が解除された後、3月下旬に急遽、勝央町に新しく増設された緑地運動公園内の多目的広場にて親子お別れ遠足を開催実現でき、保育士と保護者、子どもと心が通い合う交流の大切さを改めて認識しました。

密を避ける為、毎月の誕生日会や室内の季節行事を園全体で開催することは出来なかったものの、小規模園として各クラス少人数単位で、工夫を凝らして誕生児のお祝い等を心から楽しみました。また、コロナ禍の新しい生活様式の中で、日々の暮らしを大切にしたい保育を行うことを常に心掛け、保育士が園児一人ひとりとより長い時間しっかり向き合うことができた令和3年度でもありました。

社会福祉法人が運営受託する保育園として、勝央地域の子育て支援にも持続的に貢献するために、余裕活用型一時預かり保育、園庭開放、子育て相談などの施策も実施する年間計画がありましたが、コロナ禍で在宅の子どもの日頃の体調管理が困難なため、定例の園庭開放は開催できず、一時預かり保育も東和薬品株式会社社員のお子様と、退園児のみの実施となりました。同様に地域の子育て家庭の支援は今年度実施出来なかったものの、在園児の保護者からの子育て相談は多く、居住市町村の保健師や療育施設等とも緊密に連携をとり、課題を抱える親子の支援に取り組みました。

1. 施設運営方針

保育理念 「個を大切にし、明るく豊かな心を育てる」

保育方針 「アットホームな雰囲気の中で子どもが安心して元気に成長できる保育を行います」

「一人ひとりの子どもの個性を大切にします」

「家庭との連携を大切にし、子どもの成長を見守ります」

保育目標 「たくましい子」「素直な子」「思いやりのある子」「考える子」

園の特徴 「少ない荷物で家庭にやさしい」「アットホームな雰囲気」
 「地域のお子さまも利用可能」「気軽に相談できる」

2. 施設概要

事業内容	企業主導型保育事業
定員	30名（地域枠は定員の50%まで受入れ可能）
受入れ年齢	0歳児（生後6か月）～5歳児
開園日数	週6日（日・祝日は休園、但し東和薬品（株）岡山工場開業日の祝日は開園）
開園時間	基本保育時間 7:30～18:30
提供サービス	延長保育（18:30～19:30） 体調不良児保育 一時預かり保育
その他	園庭開放、子育て相談 等

3. 職員待遇

《 常勤 》

園長 1名 主任 1名 副主任 1名 保育士 7名
 看護師 1名 栄養士 1名 調理師 1名 連携推進員 1名 計15名

《 非常勤 》

調理師 2名 准看護師 1名 計 3名

※内保育士1名、看護師1名、調理師1名が産前産後休暇、育児休暇取得

4. 園児数推移

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
園児数（名）	18	21	23	23	23	24
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
園児数（名）	25	26	27	27	28	28

<年齢・クラスの内訳>

クラス名	年齢	4月	5月	6月	7月	8月	9月
ぱんだ組	3歳児(名)	3	3	3	3	3	3
	2歳児(名)	2	2	2	2	2	2
うさぎ組	2歳児(名)	6	6	6	6	6	7
りす組	1歳児(名)	7	7	7	7	7	7
ひよこ組	0歳児(名)	0	1	3	3	3	4
合計(名)		18	19	21	21	21	23

クラス名	年齢	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ぱんだ組	3歳児(名)	3	3	3	3	3	3
	2歳児(名)	2	2	2	2	2	2
うさぎ組	2歳児(名)	7	7	7	7	7	7
りす組	1歳児(名)	8	8	8	8	8	7
ひよこ組	0歳児(名)	5	6	6	6	6	6
合計(名)		25	26	26	26	26	25

5. 年間行事

月日	行事内容	参加人数
4月15日	ぱんだ組筍掘り体験	園児5名、職員2名
6月17日	歯科検診	在園児20名 (欠席者は後日受診)
6月30日	不審者対応訓練 (美作警察署職員立会)	園児15名、職員12名
6月1日 ～9月10日	水遊び・感覚遊び	全園児対象(各クラスで)
7月7日	七夕まつり	在園児17名(各クラスで)
10月29日	ハロウィン(屋外)	在園児21名
12月24日	クリスマス会	在園児18名(各クラスで)
1月17日	とんど	1～3歳児19名時間差で参加、0歳児6名は保育室の中から見学
2月3日	節分	在園児25名(各クラスで)
2月17日	不審者対応訓練 SECOM職員立会	園児25名、職員14名

3月3日	ひなまつり	在園児20名（各クラスで）
3月14日	内科検診	在園児19名・新入園児6名 欠席者は後日受診
3月21日 (祝)	お別れ遠足	園児24名、保護者25名

※その他 毎月実施：誕生日会、身体測定、避難訓練

6. 給食

園児の活動の源である給食は、栄養士が作成した献立を基に、食材は国産の材料を使用し、旬のものを取り入れながら、園内調理で主食・汁物・主菜・副菜を揃えた完全給食を実施しています。

好き嫌いがあっても一口から食べられるように、調理方法にも工夫を凝らしています。

■ 食育活動

① 毎月19日を「食育の日」とし、親子で食べ物について話せる機会にできればと、旬の食材を使用した給食を提供。保護者には給食展示と共に掲示で旬の食材の栄養や調理方法について紹介しました。

② 夏野菜の栽培

ぱんだ組（2・3歳児）の子ども達が苗を植えてから、水やりをして育てたトマト、きゅうり、ピーマン、なす、おくらを収穫し、その野菜を使ってサラダなどに調理して提供しました。自分たちで作った野菜を「おいしい！」と言いながらしっかり食べることができました。

■ 離乳食への対応

中期食、後期食、移行食に分けて、毎月1回面談を行いながら保護者と連携をとりつつ、個々の発達状況に合わせた離乳食の提供をしました。

■ 食物アレルギー児への対応

食物アレルギーのあるお子さまは、医師の診断書・指示書に基づき、保護者と面談を実施した上で、除去食を提供しました。今年度は卵のみ1名、乳と卵1名、カシューナッツ1名の合計3名に対応しました。

■ 衛生管理

集団給食施設届出を美作保健所に提出しています。

また、全職員は4月と1月に検便を行い、調理に携わる職員、調乳の可能性がある0歳児担任、園長、主任、看護師、フリー職員は毎月検便を行っています。特に、10月～3月の感染症流行期にはノロウイルスの検便を実施しています。

7. 体調不良児保育

看護師1名（看護師産休・育休中は准看護師1名）を配置し、園児が保育中に熱を出すなどの体調不良となった場合、保護者のお迎えまで医務室にて保育をしました。

新型コロナウイルス感染防止の為、37.5℃以上の発熱が認められた場合は、可能な限り保護者にお迎えを依頼しましたが、仕事の都合でどうしても直ぐにお迎えに出来ない場合は感染予防対策をとり、体調不良児保育を実施しました。

<令和3年度 月別のべ利用者数> ※ 年間のべ利用者数 合計49名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用数	8名	9名	9名	10名	13名	3名
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用数	3名	6名	5名	9名	11名	8名

8. 一時預かり保育

本来は地域の子育て支援を主たる目的として行って参りましたが、新型コロナウイルス感染症対策の為、一般の一時預かり保育は実施せず、東和薬品株式会社祝日開園日の東和社員のお子様の保育と、新規入園児の入園前保育、また退園児の退園後の保育に限り、検温等体調チェックを受け入れ1週間前から実施し、行いました。

※ 利用登録者数：家庭数 3 / 子ども 4名

<令和3年度 月別のべ利用者数> ※ 年間のべ利用者数 合計19名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用数	10名	0名	0名	0名	0名	3名
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用数	0名	0名	0名	0名	2名	4名

9. 園庭開放

子育て中の親子が気軽に参加でき、その場で、一緒に遊べて、親子共に友達が出来、

保育士との会話の中で子育てに関する相談ができる機会を創出したいという意志の下、令和元年度まで園庭開放を行ってきました。然しながら、新型コロナウイルス感染防止の為、在園児とは異なり、日頃の子ども及び家族の体調管理の把握が出来ないため、今年度は園庭開放を中止しましたが、今後は感染状況を鑑みて再開を検討します。

10. 子育て相談

今年度は、園児の送迎を玄関ホールまでとしたことで、保育室の様子を保護者が見ることが出来なかったため、玄関のホワイトボードに各クラスのその日の活動を書き記し、さらに活動写真を掲示して、保護者に伝える工夫を凝らしました。また、登園や降園の際に園児の様子を伝え、家庭での様子を聞く中で、気になった保護者や、相談を希望する保護者と、落ち着いた雰囲気のある場を設定して子育て相談を行いました。

特に今年度は子どもの発達に不安を感じていた保護者が数名あり、居住市町の保健師とも連携し、保護者の意向を尊重しつつ、療育に向けて施設職員の見学や話し合いの機会を持ち、園児と保護者の支援に力を注ぎました。

実施回数：在園児保護者 5名

場 所：職員室、ほほえみルーム

内 容：「子どもの育ちについて」、「食物アレルギーについて」
「家庭の問題について」

11. 職員研修

保育分野、調理分野共に専門職としての自己研鑽に努める為、毎月1回の職員会議を行い、保育実践の振り返りと評価を行い、保育の質の向上と職員全体の共通理解や意識の統一を図りました。

【園外研修】

月 日	研 修 内 容	主催・会場	参 加 者
6月4日	実践に活かす！ 自己評価ガイドラインセミナー	(主催)日本保育協 (会場)Web	園長
6月11日 ・18日	令和3年度感染症対策セミナー ～基礎編～	(主催)日本保育協 (会場)Web	川上主任 山口准看護師
7月29日	職場における新型コロナウイルス感染症 感染予防研修会	(主催)岡山県 (会場)Web	川上主任 山口准看護師

月 日	研 修 内 容	主 催・会 場	参 加 者
8月11日	子どもと接する職業者向け 新型コロナウイルス感染症の特性と正しい予防・拡大防止策について	(主催)岡山県 (会場)Web	園長
8月31日	子どもの発達を保障する環境 ～乳児～	(主催)日本子ども 育成協議会 (会場)Web	草苺保育士
9月10日 ・17日	令和3年度感染症対策セミナー ～応用編～	(主催)日本保育協 (会場)Web	川上主任 山口准看護師
9月16日	勤怠管理相談所	(主催)社労士 (会場)Web	尾原連携推進員
9月22日	子どもの発達を保障する環境 ～幼児～	(主催)日本子ども 育成協議会 (会場)Web	藤本保育士
10月 ～12月	保育安全研修	(主催)児童育成協 会 (会場)Web	富倉保育士
10月27日 ～ 12月20日	令和3年度岡山県認可外保育施設保育従 事者研修	(主催)岡山県 (会場)Web	園長 川上主任
11月26日	食に関する「環境」のとらえ方と環境作り	(主催)日本保育協 (会場)Web	万代栄養士
11月22日 ～ 12月18日	令和3年度児童育成協会施設長研修	(主催)児童育成協 会 (会場)Web	園長
12月3日	トップセミナー2021	(主催)全国企業主 導型保育事業連 (会場)Web	園長
12月16日	就学前施設のタイムライン作成のポイント	(主催)あいおいニ ッセイ同和損保 (会場)Web	園長
1月13日	令和3年度保育所児童の人権を大切にす る研修会「子どもと保護者への関わり方 ～個性豊かな子ども達を支援するために ～」	(主催)岡山県 (会場)Web	保田保育士

月日	研修内容	主催・会場	参加者
2月12日	第15回2022ニッポンの保育 オンラインフォーラム 「子どもが豊かに育つ社会の実現」	(主催)日本子ども 育成協議会 (会場)Web	園長 川上主任

【園内研修】

月日	研修内容	講師	参加者
5月6日	普通救命講習	津山圏域消防組合東消防署 職員	職員12名
5月6・7日	「保育所保育指針」について 「指導案の書き方」について	川上主任	職員10名
8月4・5日	危機管理研修 (ヒヤリハットについて)	東和薬品(株)岡山工場 総 務課 松田課長	職員13名
12月17日 ・20日	睡眠中の事故防止	岡山県研修の動画を用いて 園内研修を実施	職員10名
12月27日	保育安全研修 わらべうた研修	保育安全研修受講者 富倉保育士	職員8名

12. 委員会活動

令和3年度より、園内に2つの委員会を立ち上げ、安心・安全な保育を目指して職員間で協議し、園内の意思統一を深めることに尽力しました。

①安全対策委員会

1か月間のヒヤリハットを検討し、事故防止に向けてのルール作りや環境改善を行い職員会議にて全職員に周知徹底を行いました。

回	日付	主な内容
第1回	8月24日	おむつ台の転落防止ルール作成 おむつ台両サイドにパネル設置
第2回	9月24日	給食室の調理台の改善 すべり台使用ルールの作成
第3回	10月20日	手作り玩具の安全性チェックについて
第4回	11月24日	駐車場から玄関の危険性について 保育の動線の中でのコーナー等改善方法
第5回	12月21日	園児が朝食を口の中に入れてまま登園することについて

第6回	1月25日	アレルギー児への誤配について 保育室の柵について
第7回	2月18日	降雪時の注意事項について
第8回	3月22日	玩具や玩具ケースの破損について 子どもの噛みつきについて

② 感染症対策委員会

山口准看護師を中心に、園内の感染症対策について検討し、ルールや環境改善を全職員に周知徹底して、園内の感染症予防に努めました。

回	日付	主な内容
第1回	7月9日	基本の感染症予防の徹底について
第2回	8月4日	プールについて
第3回	10月7日	感染症対策セミナー受講より 園内での消毒等の方法について
第4回	2月24日	10歳未満児のコロナ罹患患者急増について 嘔吐等で汚れた衣類の処理について保護者向けパンフレット作成

